

第78期 中間報告書

2023年4月1日～2023年9月30日

Contents

- P 1 株主の皆様へ
- P 3 連結財務諸表
- P 5 会社の概要
- P 6 株式の状況

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに当社の第78期上半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業の概況と決算につきましてご報告申し上げます。

当上半期における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による原材料価格の高止まり及び各国の政策金利引き上げによる金融不安など、懸念材料は依然として残り、景気回復に鈍化がみられました。米国企業の景況感回復にはまだ時間を要することも予測され、さらには中国における不動産市場の悪化などを背景とした景気減速がみられるなか、長引く米中関係の不安定要素を含め、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

当社企業グループの主力事業である工業用ミシン事業におきましては、世界的なインフレの影響から消費意欲が抑制された結果、アパレル製品の在庫増加につながり、縫製工場へのアパレル発注量が減少し、同時に縫製産業の設備投資に対する慎重な姿勢が続きました。オートモーティブ事業におきましては、自動車生産の回復傾向は顕著なものの、一方で世界的な政情不安などを背景に買い控えの動きもみられるなか、新規顧客の獲得や既存顧客からの新規部品を含めた受注増加に積極的に対応し、業績は堅調に推移いたしました。

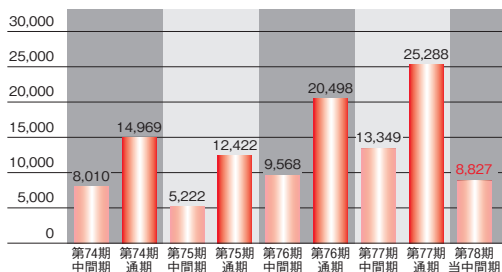
このような環境のもとで、当上半期の売上高は88億27百万円（前年同期比33.9%減）、営業利益は1億20百万円（前年同期比93.7%減）、経常利益は6億66百万円（前年同期比72.8%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は4億39百万円（前年同期比74.8%減）となりました。

株主の皆様には、今後とも引き続き一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月
代表取締役社長 美馬成望

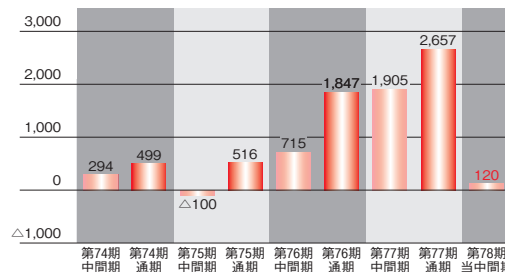
■売上高の推移

（単位：百万円）



■営業利益の推移

（単位：百万円）

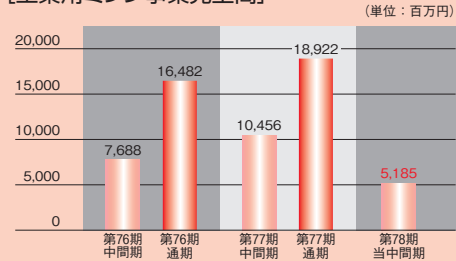


セグメント別の概況

工業用マシン

工業用マシン事業につきましては、縫製産業の設備投資に対する慎重な姿勢は続き、売上高は51億85百万円（前年同期比50.4%減）、セグメント利益は1億63百万円（前年同期比93.0%減）となりました。

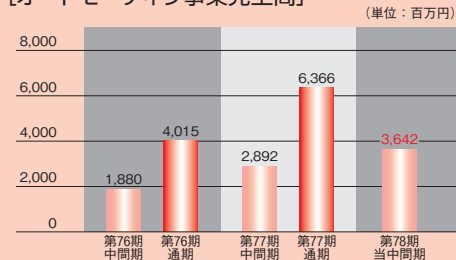
[工業用マシン事業売上高]



オートモーティブ

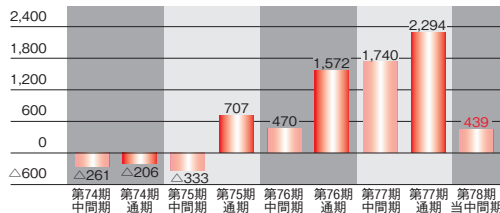
オートモーティブ事業につきましては、新規顧客獲得や既存取引先への供給強化を継続したことから、売上増加とともに原価率も改善し、売上高は36億42百万円（前年同期比25.9%増）、セグメント利益は4億81百万円（前年同期比162.8%増）となりました。

[オートモーティブ事業売上高]



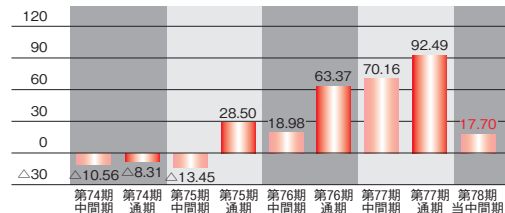
■ 純損益の推移

(単位：百万円)



■ 1株当たり純損益の推移

(単位：円)



[中間連結貸借対照表]

(単位：千円)

科目	前年通期 (2023年3月31日現在)	当中間期 (2023年9月30日現在)	科目	前年通期 (2023年3月31日現在)	当中間期 (2023年9月30日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	28,372,456	28,459,198	流動負債	7,863,891	8,129,880
現金及び預金	9,530,205	8,613,473	支払手形及び買掛金	2,831,554	1,534,559
受取手形及び売掛金	6,141,082	6,314,278	短期借入金	3,018,940	3,846,640
商品及び製品	7,024,645	7,803,829	未払法人税等	498,384	336,081
仕掛品	1,105,842	925,884	賞与引当金	121,878	132,310
原材料及び貯蔵品	4,019,530	4,131,692	その他	1,393,134	2,280,290
その他	678,854	810,905	固定負債	2,444,097	3,125,446
貸倒引当金	△ 127,704	△ 140,864	長期借入金	1,171,533	2,210,635
固定資産	11,135,518	14,272,605	退職給付に係る負債	521,722	490,520
有形固定資産	10,409,659	12,612,653	その他	750,841	424,290
無形固定資産	44,057	43,698	負債合計	10,307,989	11,255,327
投資その他の資産	681,801	1,616,253	(純資産の部)		
			株主資本	23,767,674	23,909,201
			資本金	2,255,553	2,255,553
			資本剰余金	2,988,857	2,988,857
			利益剰余金	18,528,628	18,670,155
			自己株式	△ 5,365	△ 5,365
			その他の包括利益累計額	4,532,447	6,628,638
			その他有価証券評価差額金	14,074	43,261
			為替換算調整勘定	4,482,371	6,552,087
			退職給付に係る調整累計額	36,001	33,289
			非支配株主持分	899,863	938,636
			純資産合計	29,199,985	31,476,476
資産合計	39,507,974	42,731,803	負債・純資産合計	39,507,974	42,731,803

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT①** 流動資産は、前年通期に比べて86百万円増加し、284億59百万円となりました。これは、商品及び製品が7億79百万円、受取手形及び売掛金が1億73百万円それぞれ増加し、現金及び預金が9億16百万円減少したことなどによります。固定資産は、前年通期に比べて31億37百万円増加し、142億72百万円となりました。これは、有形固定資産が22億2百万円、投資その他の資産が9億34百万円それぞれ増加したことなどによります。この結果、総資産は前年通期に比べて32億23百万円増加し、427億31百万円となりました。
- POINT②** 流動負債は、前年通期に比べて2億65百万円増加し、81億29百万円となりました。これは、短期借入金が8億27百万円、その他が8億87百万円それぞれ増加し、支払手形及び買掛金が12億96百万円減少したことなどによります。固定負債は、前年通期に比べて6億81百万円増加し、31億25百万円となりました。これは、長期借入金が10億39百万円増加したことなどによります。この結果、負債合計は前年通期に比べて9億47百万円増加し、112億55百万円となりました。
- POINT③** 純資産は、前年通期に比べて22億76百万円増加し、314億76百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が20億69百万円、利益剰余金が1億41百万円それぞれ増加したことなどによります。

[中間連結損益計算書]

(単位：千円)

科 目	前中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	当中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
売上高	13,349,264	8,827,466
売上原価	8,651,651	6,091,469
売上総利益	4,697,612	2,735,996
販売費及び一般管理費	2,792,093	2,615,111
営業利益	1,905,519	120,885
営業外収益	603,526	656,294
営業外費用	57,222	110,774
経常利益	2,451,823	666,405
特別利益	771	-
特別損失	184	-
税金等調整前中間純利益	2,452,411	666,405
法人税、住民税及び事業税	752,277	404,381
法人税等調整額	△ 76,013	△ 226,656
中間純利益	1,776,146	488,680
非支配株主に帰属する中間純利益	35,532	49,425
親会社株主に帰属する中間純利益	1,740,614	439,254

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

[中間連結キャッシュ・フロー計算書]

(単位：千円)

科 目	前中間期 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)	当中間期 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)
POINT④ 営業活動によるキャッシュ・フロー	32,139	△ 903,118
POINT⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 736,091	△ 1,797,050
POINT⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 410,399	1,147,678
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,276,381	756,536
現金及び現金同等物の増減額	162,030	△ 795,954
現金及び現金同等物の期首残高	9,733,160	9,225,264
現金及び現金同等物の中間期末残高	9,895,191	8,429,310

(注)金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

- POINT④ 営業活動の結果支出した資金は、9億3百万円（前年同期は32百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益6億66百万円の計上、減価償却費5億51百万円、棚卸資産の減少3億87百万円に対し、仕入債務の減少17億75百万円、法人税等の支払額5億50百万円などによるものであります。
- POINT⑤ 投資活動の結果支出した資金は、17億97百万円（前年同期は7億36百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13億13百万円、投資有価証券の取得による支出6億14百万円などによるものであります。
- POINT⑥ 財務活動の結果得られた資金は、11億47百万円（前年同期は4億10百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入14億55百万円に対し、長期借入金の返済による支出5億3百万円などによるものであります。当上半期においては、設備投資に対する安定的な資金調達を目的としたコミット型シンジケートローン30億円を締結し12億円の借入を実施しております。

創設	業立	1914年1月
資本	金	1947年1月8日
従業員数		22億5,555万円
		207名 (従業員数には、臨時従業員 (パートタイマー、顧問及び派遣社員) 及び他社への出向者は含まれておりません。)
URL		https://www.pegasus.co.jp

役員及び執行役員の状況 (2023年9月30日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役社長	美馬成望
専務取締役	中村淳一
取締役(社外)	大西宏尚
取締役(社外)	小高得央
取締役(社外)	田中知加
監査役(常勤)	吉田泰三
監査役(社外)	杉山清和
監査役(社外)	武本夕香子

【執行役員】


社長執行役員	美馬成望	(注)1
専務執行役員	中村淳一	(注)1
専務執行役員	高田隆	
常務執行役員	岡田正義	
常務執行役員	美馬正	
上席執行役員	ブローカー	メルヴィン
上席執行役員	金原大	たかひら
上席執行役員	原大	おもと
執行役員	大森	もり
執行役員		たつ

- (注) 1 美馬成望、中村淳一の2氏は、取締役を兼務しております。
2 高田隆は、2023年10月1日付で執行役員に就任しております。

2023年4月1日

ペガサスミシン製造株式会社 から

株式会社 PEGASUS へ

長年愛されております  PEGASUS は
信頼の証としてこれからも変わることございません。
引き続きご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

株式の状況（2023年9月30日現在）

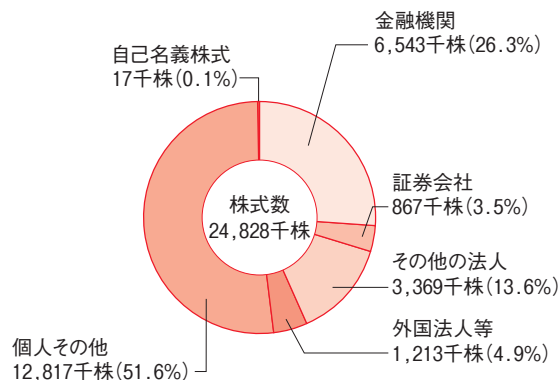
発行可能株式総数 76,928,000株
 発行済株式の総数 24,810,624株（自己株式17,976株を除く。）
 株主の総数 9,156名

株主名	持株数	持株比率
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,950千株	11.89%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,044千株	8.24%
株式会社美馬	1,553千株	6.26%
株式会社三井住友銀行	830千株	3.35%
板東 敬三	741千株	2.99%
吉田 隆子	709千株	2.86%
美馬 成望	634千株	2.56%
美馬 正道	475千株	1.92%
野村證券株式会社	424千株	1.71%
JUKI株式会社	400千株	1.61%

- 注) 1 千株未満は切捨てて表示しております。
 2 当社は、自己株式17,976株を保有しておりますが、上記株主からは除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

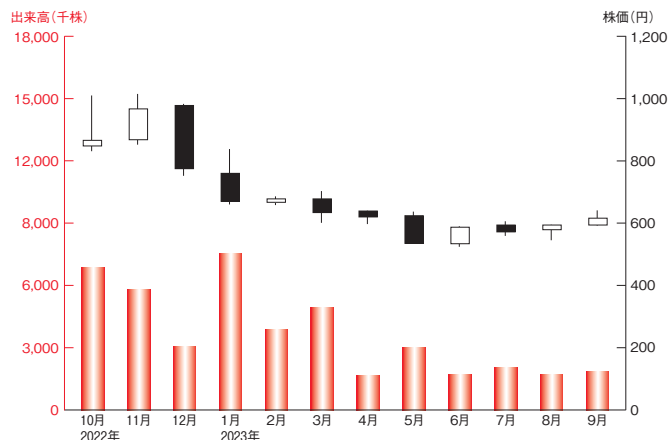
株式分布状況（2023年9月30日現在）

●所有者別 株式保有割合



※株主諸統計表を参考に作成しています。千株未満は切捨てて表示しております。

株価推移表



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 (郵便物送付先)	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
(電話照会先)	受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
(インターネット ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 (https://www.pegasus.co.jp) ※ただし、電子公告を行うことができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して公告する。
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

ご確認ください

【中間配当決議ハガキ郵送廃止のお知らせ】

当社では、今年度より「中間配当に関するお知らせ」ハガキの郵送を廃止することといたしました。今後は、当社WEBサイト「IR情報」内「IRライブラリ」に掲載しております、「第2四半期決算短信」の1枚目の「配当の状況」にて、ご確認をお願い申し上げます。

(<https://www.pegasus.co.jp/bit/SYmqck>)



【株主に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

WEBサイトのご案内

<https://www.pegasus.co.jp>

会社案内を始めとしてIR情報、採用情報及び製品情報など様々なコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

QRコードはこちらです。→



2023中国国際縫製設備展覧会(CISMA 2023)に出展 2023年9月25日(月)~28日(木)

2023年9月25日~28日の4日間、中国・上海新国際博覧中心にて、「2023中国国際縫製設備展覧会(CISMA 2023)」が開催されました。

この国際展覧会は、アジア最大の縫製機器展示会であり、会場の広さも壮大で世界有数の規模を誇ります。

当社ブースでは、縫製スタッフの経験やスキルによって生じる品質の差を最小限にとどめるためのアプローチや、多様化する生地への対応など昨今のアパレル市場における課題に沿った問題解決の提案、さらにはJUKI株式会社との協業による充実した製品ラインナップを展示いたしました。

なかでも注目を浴びた機種は、新製品のWX600Pシリーズです。

通常は生地の厚みに合わせて複数台の製品を使い分ける必要がありますが、この新製品は薄い生地から厚い生地までこの1台で対応可能とした革新的な最新機器です。

開催期間中は、延べ70,000人を超えるお客様が世界各国からご来場され、大盛況のうちに閉幕いたしました。

ご多忙のなか、ご来場いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

今後も皆様のお役に立てるような製品の開発やソリューションのご提案に努めてまいりますので、倍旧のお引き立てを賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。



環境に配慮した
植物油インキを
使用しています。